



北海道議会は、JR北海道の島田社長など経営幹部を特別委員会に招致しました。

コロナ禍で鉄道をはじめとした公共交通機関が大変厳しい状況にあります。この度、国や道からの大きな支援を受けた中で、今後の経営改善等について伺いました。新聞各紙にも報道されていまして、委員会の詳細については省略いたしますが、私からは、JR北海道に対して、道民に親しまれ利用されるJRになっていただきたい旨の質問をしました。特に黄線区の維持、そのための観光列車の活用につ

いても地域の声をどう反映させるのかなどを聞きました。北海道、そして市町村、さらには道民とJRが、今後さらに地域で連携を深めていくことが重要だと思います。また新型コロナウイルス対策に伴い、JR北海道が持つJR札幌病院におけるこれまでの感染者に対する対応(貢献)などについても聞かせてもらいました。1302億円という大きな国の支援、さらに債務等処理法の改正に伴い、JR北海道が自立するための最低条件はクリアできましたが、第二期集中改革期間であるこれからの3年間で大事です。

JR、職域接種申請
【札幌】JR北海道は9日、新型コロナウイルススクランの職域接種を国に申請した。
島田修社長がこの日行われた道議会公明党の田中英樹氏(釧路市)の質問に答えた。運転手や車掌が濃厚接触者となった場合、列車の運行停止になる恐れがあることを挙げ、政府からの要請もあり、7月に札幌地区で実施する予定。関係者は全道で1300人。同社にはJR札幌病院があり、島田社長は「万全の準備で当たりたい」と述べた。(武田博)

2021年6月10日 釧路新聞

保健福祉委員会

令和3年7月2日(金)

質問

障がい福祉サービスに関する研修について札幌開催が多く移動時間、交通費、滞在費などの経費負担が大きい。オンラインでの開催を継続して事業者等の負担軽減を図るべき。

答弁

【新井障がい者支援担当局長】

道として今後ともオンラインによる研修の開催について、その効果も見極めながら地方に住まわれている方々が受講しやすい実施方法の検討に努めてまいります。



北方領土対策特別委員会

令和3年7月2日(金)

質問

根室市が検討している「専門家会議」について、道としても一市四町および国とも連携して取り組んでいくべき。

答弁

【篠原北方領土対策局長】

「専門家会議」検討状況等を把握し、会議の目的が達成されるよう市から必要とされる協力を行うなど連携を図っていく。



道政に関するご意見・ご要望をお寄せください

北海道議会議員 田中ひでき事務所

〒085-0046 釧路市新橋大通8丁目2-19 ミヤシタビル 3F-B
TEL 0154-65-8063・FAX 0154-65-8064



田中ひでき オフィシャルwebサイト
制作/株新生



北海道議会議員 Action report

田中ひでき 道政通信



令和3年第2回北海道議会定例会 予算特別委員会(要旨)

令和3年6月25日(金)

建設部

質問

道立広域公園の整備について

釧路地方総合開発促進期成会より地域の総意として、長年にわたり要望が出されている。今後の整備について伺います。



答弁

【北谷建設部長】

協議会などの場を速やかに設け、地域からの要望に応えるためにも検討を加速化させてまいります。



農政部

- 農業分野における人材確保について
- 生乳の需給等について
- 配合飼料価格の高騰について



令和3年6月29日(火)

教育庁

- 健康教育の充実について
- 地学協働活動について(地域と学校)



JR貨物(日本の大物流網)

2021年4月17日

道議会公明党は、札幌市白石区流通センターにあるJR貨物が、新築工事している「DPL札幌レールゲート」を視察しました。完成は2022年5月の予定で地上3階建てで、敷地面積は15,230坪と巨大な物流施設になります。

北海道から全国へ年間202万トン、その逆の移入は216万トンであり、北海道からは主に半数以上が玉ねぎやじゃがいもなどの農作物です。北海道に入ってくるものは宅配貨物や飲料、加工食品、衣類、書籍、雑貨などの生活必需品となっています。この大量重量物輸送を担っているのが全国に輸送網をもつJR貨物です。もはや私たちの生活に欠かすことのできない物流手段です。北海道の鉄路をしっかりと残さなければ、このような物流が途絶えてしまいます。仮に、船舶やトラックに代替するとなると以下のような試算が言われています。まず、CO2排出量はトラックのなんと11分の1、最

大26両で運ぶJR貨物の列車1本分は10トントラックの実に65台分に匹敵することですから驚きです。

カーボンニュートラルが言われている昨今、貨物列車輸送は環境にも適した重要な輸送手段となります。最長は北海道札幌から九州の福岡まで約2日かけて貨物が運ばれています。長旅ですね。

この度、国は、JR3社に大きな支援がなされましたが、私たちの暮らしを守る重要インフラとして、これから活躍していただきたいと思います。



ワクチン接種バス

2021年4月30日

道議会公明党5名で北広島市大曲にある北都交通バス事業部さんに行き、ワクチン接種バスを視察させていただきました。ほとんどの座席を撤去して待機場所→予診表の記入所→接種→経過観察場所と前から順番にゾーニングされています。

国も座席数の変更による持ち込み検査の緩和など、ワクチン接種促進のために柔軟に対応してくれています。(国土交通省・厚生労働省) 接種会場の確保に苦勞している自治体や郡部などの集団接種など、ワクチン接種バスは、その機動性を発揮して一人でも多く1日でも早くワクチン接種を進める上で、大きな切り札になるかもしれません。



北海道への緊急要望

2021年5月10日

- 万全の医療提供体制を構築すること
- 感染患者の療養先について病床や宿泊療養などの確保、重症患者向けの病床数確保、医療機関への十分な財政支援策を講じること
- PCR検査の一層の拡充
- 円滑かつ計画的にワクチンが接種できるようにすること
- 札幌市内の時短営業による事業者への影響を最小限になるよう適切な措置を講ずること、道内においても同様の事態が生じる可能性もあることから、迅速に対応できる取り組み
- 今後の長期化も見据え更なる地方創生臨時交付金等の増額を国に要望すること
- 旅行業や宿泊業、エージェンを含めた観光業をはじめ、バスやタクシーなどの交通事業者等、感染症の影響により厳しい状況にある事業者を支えるため、制度融資の十分な枠拡大など一層の支援に取り組むこと



建設委員会

2021年5月12日

釧路管内での道立広域公園整備について質問しました。今年3月の道議会定例会で鈴木直道知事に一般質問を行い、検討を進めるとの答弁をいただき、建設委員会であらためて今後のスケジュールについて質問しました。

道は設置に向けての協議会を設ける考えを示したことから、釧路管内での子育て環境整備に向けて大きく前進したと思います。一年でも早く設置されるよう今後のスケジュールを早急に決めるなどさらなる検討の加速化を求めました。子どもやその保護者のみなさんの笑顔あふれる地域づくりをこれからもしっかりと進めてまいります。

白糠の道立広域公園化で協議会
【札幌】公明党の田中英樹氏（釧路市）は11日の道議会建設委員会で、釧路管内で整備が求められている白糠町泊別地区の道立広域公園化について今後のスケジュールを質問。宮下忠昭や関係機関と意見交換する協議会などを設ける考えを表明した。
道立広域公園が未整備なのは釧路管内など7地域。鈴木直道知事は3月の定例会で、2018年度に策定した北海道の基本的な方針を踏まえて効果的な整備手法を検討する意向を示していた。田中氏は昨年度の調査内容や今後の日程を改めてたずねた。
道は昨年、白糠で要請箇所周辺の土地利用状況やアクセス道路、電気や上下水道などインフラの整備状況を調査。宮下局長は整備の検討には周辺の都市公園や公共・民間施設の現況を踏まえ、機能分担や連携を考慮し、管理運営を含めた地元市町村との役割分担、さらに民間資金やノウハウの活用が欠かせないことを指摘。今年度は協議会を設け、昨年度までの調査結果を基に、地域と課題を共有しながら検討したい考えを示した。（武田博）

2021年5月12日 釧路新聞

コロナ禍の観光地調査(遊歩道と土産屋)

2021年6月5日

普段なかなか行けない観光地の遊歩道調査に向かいました。ここは阿寒湖畔にある白湯山展望台の遊歩道。ここの遊歩道は北海道の管理と釧路市の管理に分かれています。写真の遊歩道は釧路市管理区域であり木道の損傷が見られます。北海道管理エリアは補修が進められキレイな部分もありました。ここから見る阿寒湖畔は絶景です！

補修状況を確認後に下山して阿寒湖温泉街へ。飲食店と違って協力金などの対象外であるおみやげ屋さんなどは厳しい状況が続いています。

さらに飲食店からもお話を伺いました。ほとんどのホテルが休業している中で、飲食店も厳しい状況が続いています。1日でも早くワクチン



ン接種が進み、これから季節のいい北海道に、また人が戻ってきて観光地の皆さんにも安心してもらえる状況を作らなければなりません。

知事への緊急申し入れ

2021年6月8日

道議会公明党は、鈴木知事へ新型コロナウイルス感染対策およびワクチン接種に関する緊急申し入れを行いました。(小玉副知事対応)



一、PCR検査体制の充実強化、医療逼迫している札幌圏の病床数の増床に取り組むこと。

一、自宅療養者が増加していることから、道庁本庁、総合振興局、札幌大、民間医療機関、医師会、市町村等と連携しプロジェクトチームを設置するなど、自宅療養者が必要な支援を受けることができる体制を構築すること。

一、市町村におけるワクチン接種を支援するため、コロナ対策以外の職員を臨時的緊急的に配置するなどの体制強化。

一、札幌大のネットワークを最大限活用し歯科医師等の活用など市町村が実施するワクチン接種を支援すること。

一、道立施設や民間施設を活用し札幌大をはじめ医師会の協力を得て道独自のワクチン接種会場を早急に確保すること。

一、近隣市町村から通勤している人が勤務地で接種できるよう広域的な接種体制を構築すること。

一、6月21日から職域接種が可能となったことから加速化が図られるよう支援すること。

一、北海道のワクチン接種を推進するため、札幌医科大学にワクチンを備蓄し、広域な北海道での効率的な供給体制を構築すること。

ワクチン接種の加速へ

2021年6月24日

道議会公明党は、北海道が設置したコロナワクチン大規模接種会場(札幌市厚別区ホテルエミシア札幌)を視察調査しました。対象地域は、札幌、江別、千歳、恵庭の4市で19日からスタート。21日からは当別町、北広島市も加わりました。接種規模は1日1,000人を想定した会場となっています。人口が集中している札幌圏で接種が加速することは感染が集中している札幌圏の感染抑制のためにも大きな意義があります。

札幌大ドクター、北海道看護協会から看護師、北海道薬剤師会、コードモックルなどが運営協力しています。ドクター7～8人、看護師は約

令和三年第二回北海道議会定例会

2021年6月15日

令和三年第二回北海道議会定例会が開会しました。議案第一号の補正予算総額は750億9,500万円で、休業や時間短縮などの要請に伴い、協力支援金の支給のため304億4,600万円を計上しました。冒頭先議に対し公明党を代表して質疑しました。内容は以下のとおりです。



- 新型コロナウイルス感染症対策について
- (一)新型コロナウイルス感染症の見通しについて
- (二)経済対策について
- (三)ワクチン接種について
- 1、高齢者に対するワクチン接種について
- 2、集団接種の対象地域について
- 3、8月以降の集団接種の実施について
- 4、ワクチンの職域接種などについて
- 5、医療従事者の確保について

協力支援金の一層の手続き簡素化とともに、一刻も早い事業執行を求めました。特に、道内感染者の3分の2を占める札幌圏での感染状況を抑制することが、今後の本道の感染状況の改善につながるという視点からも札幌圏の接種加速化は重要です。

この札幌市をはじめ、旭川市や釧路市、函館市等の地方において、引き続き、道独自で集団接種会場を設置すべきはないか、と鈴木知事へ所見を伺いました。知事からは「地域の感染状況や接種状況の推移などを見極めながら柔軟に対応する」との答弁をいただきました。

